

戦争(軍事行動)に反対し、直ちに停戦(軍事行動の停止)を求める

アピール

2024年2月1日
日本居住福祉学会

世界中から「戦争反対」「即時停戦」の声が上がるなか、ウクライナとロシア、イスラエルとパレスチナなど世界中の軍事行動は収まる気配がない。それどころか、当事者からは自分たちの正当性と敵対者への非難が繰り返され続けている。

戦争で掲げられるさまざまな大義名分よりも軍事行動によって都市、街、村、住宅、学校、病院などが破壊され、人が殺戮され続ける現状こそ注視すべきである。それらの行為は、まさに重大な人権侵害であり、人間居住の基盤を失わせるのみならず、地球環境へも多大な負荷をもたらし続けている。

日本居住福祉学会は、「居住福祉」を研究・実践する団体として「居住福祉」の基盤を奪い去る、全世界の軍事行動の即時停止を求める。